

資料4 北海道運輸局補助事業の1次評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月 日

協議会名: 旭川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
旭川中央交通株式会社	米飯地区と東旭川駅周辺間において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。	R3.12月に地域住民との意見交換会をに開催し、地域住民のニーズの把握に努めた。	A 計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。	B 人口1人あたりの年間利用回数7.6回を目標としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績は6.9回にとどまった。	アンケート、意見交換会等の取組を通じて、実際に当該路線を利用している者の移動目的、用事の時間等を把握し、実態に沿った時刻等の設定を検討し、利便性及び生産性の向上を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4年 1月 日

協議会名:	旭川市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km ² 、人口は2021年4月1日時点で329,822人である。人口は2000年より減少に転じ、それにもなって市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

旭川市内のUDタクシーの導入状況について

1 令和2年度導入状況

令和元年度国補正予算及び令和2年度国補正予算による補助を活用

	旭川中央交通	大丸交通	富士タクシー	三王交通	計
令和元年度 国補正予算補助分 (バリア) ※1	2台	2台	1台	2台	7台
令和2年度 国補正予算補助分 (インバウンド) ※2	4台	6台	—	—	10台
国補助なし	1台	5台	—	—	6台
計	7台	13台	1台	2台	23台

1次評価
対象事業

※1 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通バリア解消促進等事業）

※2 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金（交通サービスインバウンド
対応支援事業）

2 平成29～令和2年度導入状況

	旭川中央交通	大丸交通	富士タクシー	みつばちタクシー	三王交通	計
H29	5台	5台	3台	1台	-	14台
H30	7台	6台	4台	-	-	17台
R1	7台	10台	3台	1台	2台	23台
R2	7台	13台	1台	-	2台	23台
合計	26台	34台	11台	2台	4台	77台

3 令和3年度導入計画

令和2年度国補正予算による補助を活用予定

	旭川中央交通	大丸交通	富士タクシー	計
R3	7台	8台	2台	17台

市補助について

導入予定台数のうち、13台に対して実施（1台10万円×13台＝130万円）予定

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月 日

協議会名: 旭川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 令和元年度地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
旭川中央交通株式会社	UDタクシー車両2台の導入	より多くの高齢者や障害者のニーズに応えるため、車の入れ替えの際にはユニバーサルデザインタクシーを積極的に導入した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ユニバーサルデザインタクシー車両を導入することで、高齢者や障害者の移動の円滑化が進み、より利便性が高まり、誰もが利用しやすい公共交通の実現に向けた一歩となった。	誰もが利用しやすい公共交通の実現のため今後もUDタクシー車両の導入台数をさらに増加させる。
大丸交通株式会社	UDタクシー車両2台の導入	より多くの高齢者や障害者のニーズに応えるため、車の入れ替えの際にはユニバーサルデザインタクシーを積極的に導入した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ユニバーサルデザインタクシー車両を導入することで、高齢者や障害者の移動の円滑化が進み、より利便性が高まり、誰もが利用しやすい公共交通の実現に向けた一歩となった。	誰もが利用しやすい公共交通の実現のため今後もUDタクシー車両の導入台数をさらに増加させる。
富士タクシー株式会社	UDタクシー車両1台の導入	より多くの高齢者や障害者のニーズに応えるため、車の入れ替えの際にはユニバーサルデザインタクシーを積極的に導入した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ユニバーサルデザインタクシー車両を導入することで、高齢者や障害者の移動の円滑化が進み、より利便性が高まり、誰もが利用しやすい公共交通の実現に向けた一歩となった。	誰もが利用しやすい公共交通の実現のため今後もUDタクシー車両の導入台数をさらに増加させる。
三王交通株式会社	UDタクシー車両2台の導入		A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ユニバーサルデザインタクシー車両を導入することで、高齢者や障害者の移動の円滑化が進み、より利便性が高まり、誰もが利用しやすい公共交通の実現に向けた一歩となった。	誰もが利用しやすい公共交通の実現のため今後もUDタクシー車両の導入台数をさらに増加させる。